

森林保護員(GSS)の活動報告

(6月1日)

今年、6月1日から山形森林管理署の森林保護員(愛称:グリーン・サポート・スタッフ(GSS))が活動を始めました。

蔵王連峰の国有林内において、平成19年度から森林の巡視による高山植物の保護、施設の状況管理、自然保護に対する啓蒙活動(高山植物の保護や一般入山者へのマナーの向上の普及)など、幅広く活動します。

西川署長から辞令を受け、現地の巡視と環境整備等の行いました。頂上付近は、あいにく濃霧でしたが、蔵王避難小屋付近において、巡視・環境整備を行いました。花は咲き始めですが、これからが見頃を迎えます。

最近、入山のマナーは向上していますが、立入禁止箇所へ出入りや高山植物の踏みつけ等も見受けられます。本格的なシーズンの幕開けに伴い、保護・巡視等に取り組みます。

